

テ ー マ	山高神代桜並びに根古屋神社の田木・畑木 - 国指定天然記念物の治療とその後の管理	参加者	埼玉支部 20名、 他支部 35名 共催 山梨県支部
講 師	(公財)日本花の会主任研究員 和田博幸氏 (樹木医 群馬県支部) 小林稔蔵氏 (樹木医 山梨県支部)	場 所	山梨県 北杜市武川 実相寺 北杜市須玉 根古屋神社
資 料	山高神代桜 (過去の状態と治療計画について) 根古屋神社大ケヤキの環境整備工事概要書・他	記 録	成山久広
目 的	山高神代桜と根古屋神社のケヤキを例に取り、調査～計画～治療施術についての解説を受けて、古木の治療とその後の維持管理についての知見を深める。		

研修内容 (実相寺 10:30 集合)

行程 11:00～13:10 実相寺本堂にて講義 (休憩含む)・・・ 昼食

13:45～14:30 山高神代桜現地講義～車移動～15:00～15:45 田木・畑木現地講義

午前は実相寺本堂にて「山高神代桜」「根古屋神社田木・畑木」の調査～治療計画～治療の経緯を和田氏に講義していただき、午後はそれぞれの現地にて小林氏に解説していただいた。

I. 山高神代桜

講義では、平成13年より樹勢回復委員会にて樹勢衰退の経緯・原因究明調査及び樹勢回復工事の計画に至る解説をしていただいた。対象木は、樹勢回復工事に着手して10年が経過して、ようやく樹勢回復の兆しが見えてきた。しかし、抜本的な樹勢回復には至っていないので、更なる養生が必要との説明を受けた。

現地では、作業全般が人力で行われたため、厳冬期は作業員の健康管理が大変であったこと、また根の乾燥対策に苦慮させられた等の話も披露された。



実相寺 本堂にて講義



山高神代桜

II. 根古屋神社大ケヤキ 田木・畑木

講義では、樹勢調査を開始して環境整備工事行った平成20年から5か年間に於ける環境整備状況と現在の生育状況について解説をしていただき、現地でその現状を確認した。



神代桜 現地講義



田木・畑木 現地講義

古木の樹勢回復工事は調査～改善計画～治療と長期にわたる時間・労力が必要とされること、それにかかわる樹木医や関係者の熱意が必要であること等の知見を得ることができた。

オプション



山梨名酒「七賢酒造」店構え



母屋庭園

貸切バスでの参加者は、帰路に山梨名酒「七賢酒造」に立ち寄り、ちょっとだけ【利き酒】して帰りました。

大宮到着はPM8:00。